

田っ中人権宣言

【前文】

この宣言は、私達が本音^{ほんね}を出し合い、もっと深いところから思い合い、心配し合える仲間どうしの絆をつくり上げるためにつくられたものである。

私たちがこれまで、つくり上げてきたものは、はかることのできない、数えることのできないものばかりである。ここ（田っ中）には、他にはない、人を思う気持ち、友達の事を自分の事以上に真剣に考えられる、そんな優しい気持ちがつまっている。

全部が良いとはいえないが、たりないものに気づく事ができ、直そうとすることができる私達だからこそ、それを大切にしていっていき、いつの時代でも今と同じように、あたたかい雰囲気のある田っ中であってほしい。私たちは何度も、本気と本音でぶつかり合い、励まし合い、認め合い、思い合ってきた。この宣言は仲間とつながり合う事がどれだけ幸せかを知っている私たちから、田っ中の後輩達に受けついでもらいたいという願いが込められたものである。

【団結力】

団結力とは、人と人で作り出すことのできる「最高の力」である。一人ひとりの力が一つの大きな力となり、一人では乗り越える事のできない壁も団結力があれば、乗り越える事ができる。団結力は信じる事のできる仲間がいるからこそ生まれるものである。

【話し合い】

お互いのことをわかり合うためには、心のふれあいが大切である。誰でも必ず心の優しさをもっている。また、自分とは違う考え方もある、わかり合おう、お互いのことを。そのためには話し合いを大切に、どんな小さなことでも、心で受けとめ、心からつながろう。話し合いをして、みんなの心を一つにしよう。

【あいさつ】

「あいさつ」は人と人との心をつなぐ、一番最初につかう言葉。「あいさつ」は人とのコミュニケーションをとる大切なもの、だからこそ「あいさつ」をし合うことが大切である。

「あいさつ」は心からつながる第一歩。

【本音をだすこと】

「本音^{ほんね}をだすこと」をいやがる人がいる。ひとりになりたくないから、もめごとがいやだから・・・でも、本音^{ほんね}をださないと何もわかり合えない、伝わらない。本当の友達になんか絶対なれない。自分の気持ちを閉じ込めていては、何もはじまらない。ぶつかり合うことから逃げるのは自分に負けることなんだ。想いを伝えないと、本物になんかなれない。だから言うんだ。きらいだから言うんじゃない。好きだから言うんだ。「本音をだす」ということは友達を大切にすることだ。きっと今以上の仲になれる。時間はかかってもいいから勇気をだして。大切な友達だから。

【勉強】

勉強とは、数学や理科といった教科だけ学習することではない。真の勉強（学習）それは人の心を思いやる力を身につけることだ。人の心を思いやるためには、教科で身につける理解力、判断力は欠かせない。だからこそ学校での教科学習を一生懸命がんばる事が必要なのだ。

【物を大切にする】

校内のいろいろな物に心ないいたづらがされている。全ての物への傷は、人の心までをズタズタにする。ズタズタにされた物の傷より、もっと深い「心の傷」をつくってしまう。

考えよう！物を大切にする事は人を大切にする事なのだから。

【友達】

友達とは、悲しい時、辛さを半分のできる関係。友達とは楽しい時、喜びを2倍にして一緒に喜び合える関係。そして時にはぶつかり合える関係でもある。だから、いろいろな時と一緒に感じ合える。いつも一緒にいたいと思う。友達とは、支え合い、同じ時を共有できるかけがえのない存在なのである。